

令和6年度 第1回

埼玉県在宅緩和ケア推進検討委員会

令和7年1月29日(水)

# 在宅医療及び在宅緩和ケアに関する実態調査の結果報告について

# 在宅医療及び在宅緩和ケアに関する実態調査結果

## 対象施設別回答数

回答数：912/8, 975機関（回答率：10.2%）

施設区分	回答数	
病院	151 / 342機関	44.2%
診療所	315 / 4, 637機関	6.8%
薬局	338 / 3, 158機関	10.7%
訪問看護ステーション	108 / 838機関	12.9%

※病院、診療所、薬局、訪問看護ステーションは9月1日時点の開設済である医療機関等が対象

## 調査方法

電子申請・届出サービスによるWEB調査

## 調査期間

9月2日（月）～10月1日（火）

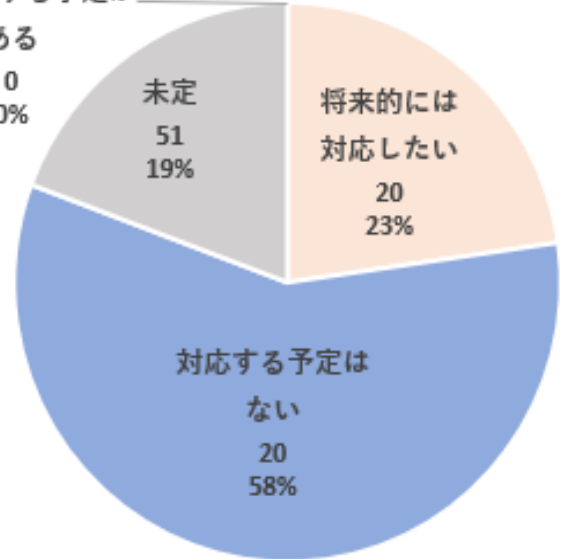
# ①緩和ケアの実施状況（病院）

- 緩和ケアの実施状況を見ると、「緩和ケアを実施している」は42%（55%）、「緩和ケアを実施していない」は58%（45%）となっている。
  - 対応している内容についてみると「身体的苦痛への対応」が最も多い。
  - 緩和ケアに対応していない病院の今後の予定をみると、「対応する予定はない」が58%（43%）、「将来的には対応したい」が23%（23%）となっている。
- ※（）内は令和元年度調査の結果

【今後の緩和ケアの対応予定】

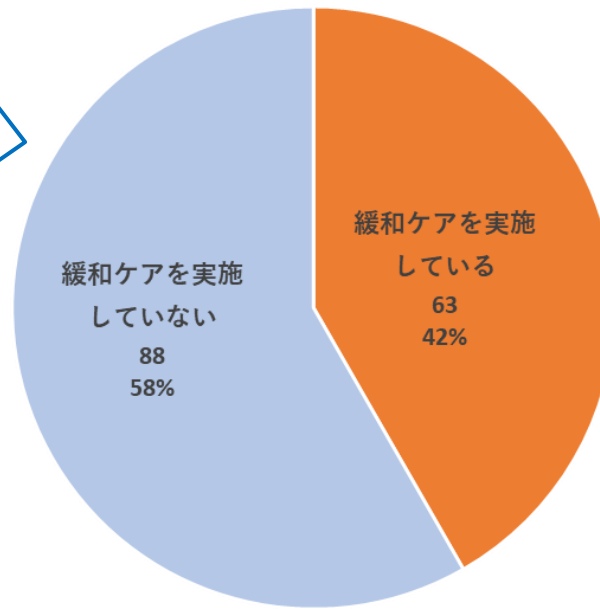
数年（1～3年）以内に  
対応する予定が

ある  
0  
0%



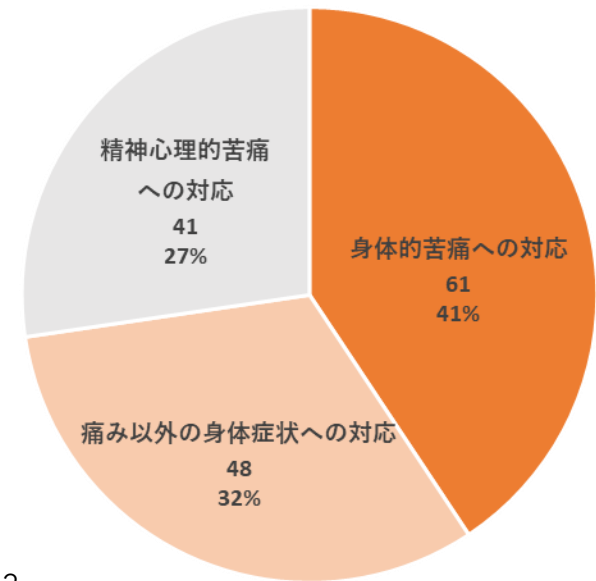
n=88

【緩和ケアの実施状況】



n=151

【緩和ケアの対応状況】（複数回答可）

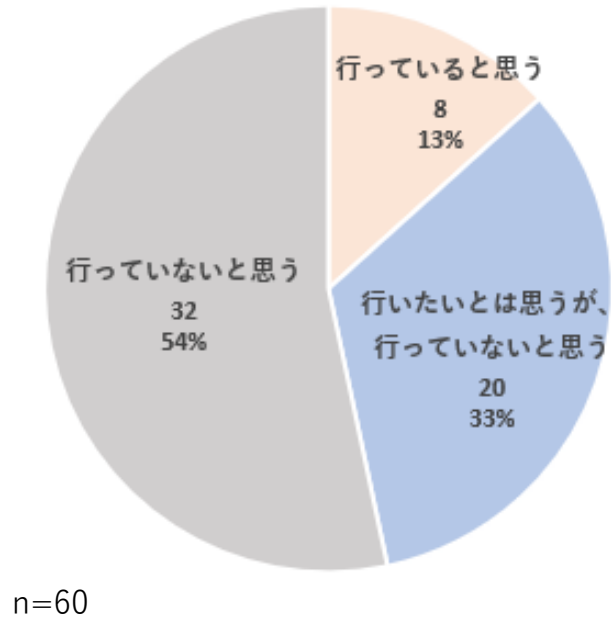


n=63

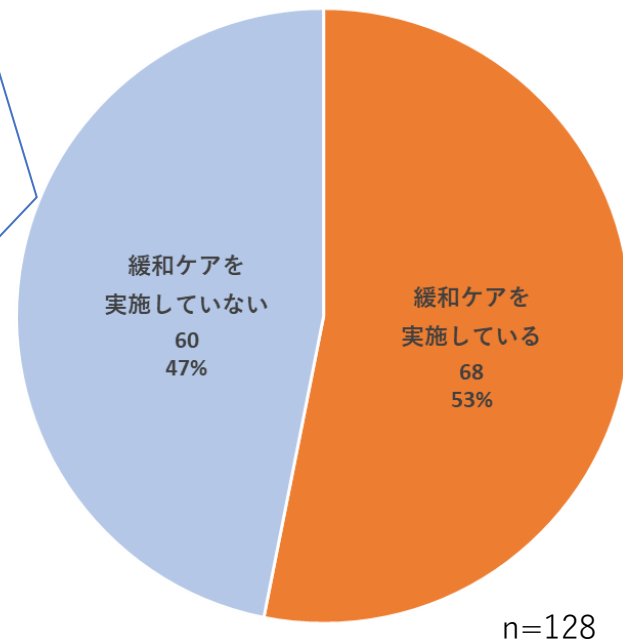
# ①在宅緩和ケアの実施状況（診療所）

- 在宅緩和ケアの実施状況を見ると「緩和ケアを実施している」は53%（41%）、「緩和ケアを実施していない」は47%（59%）となっている。
  - 在宅緩和ケアに対応している診療所のケア内容を見ると「非オピオイド鎮痛薬（アスピリンやアセトアミノフェン等）による疼痛緩和」が最も多くなっている。
  - 緩和ケアに対応していない診療所の今後の予定を見ると、「行っていないと思う」が54%、「行いたいと思うが、行っていないと思う」が33%となっている。
- ※（）内は令和元年度調査の結果

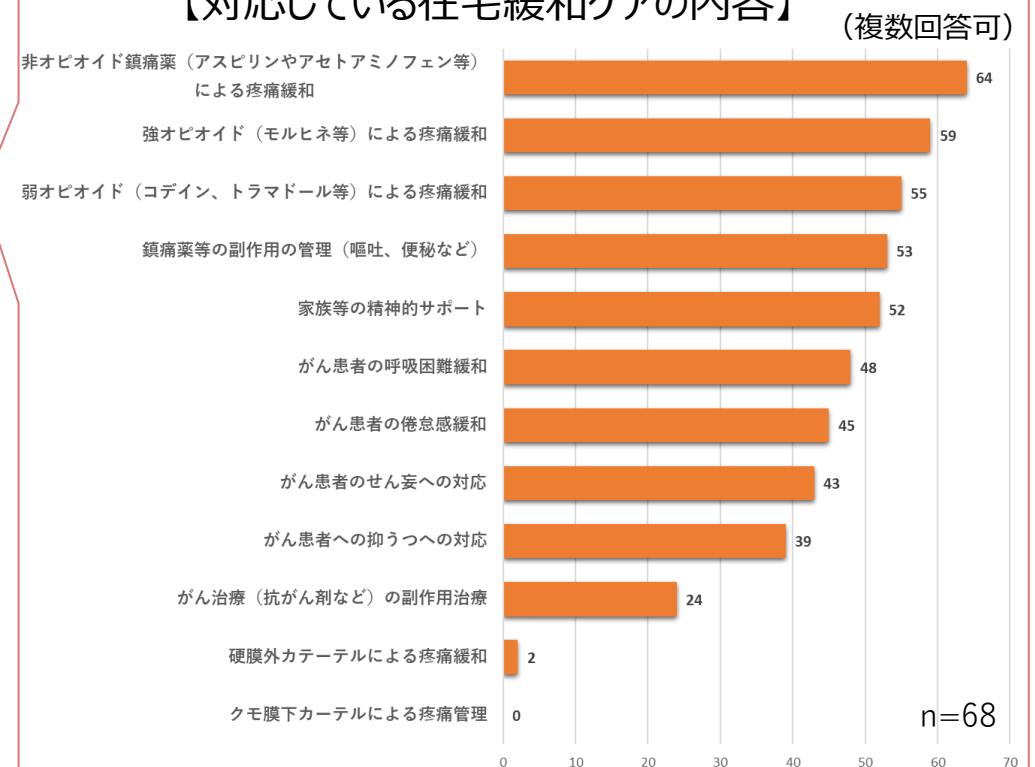
### 【今後の緩和ケアの対応予定】



### 【緩和ケアの実施状況】

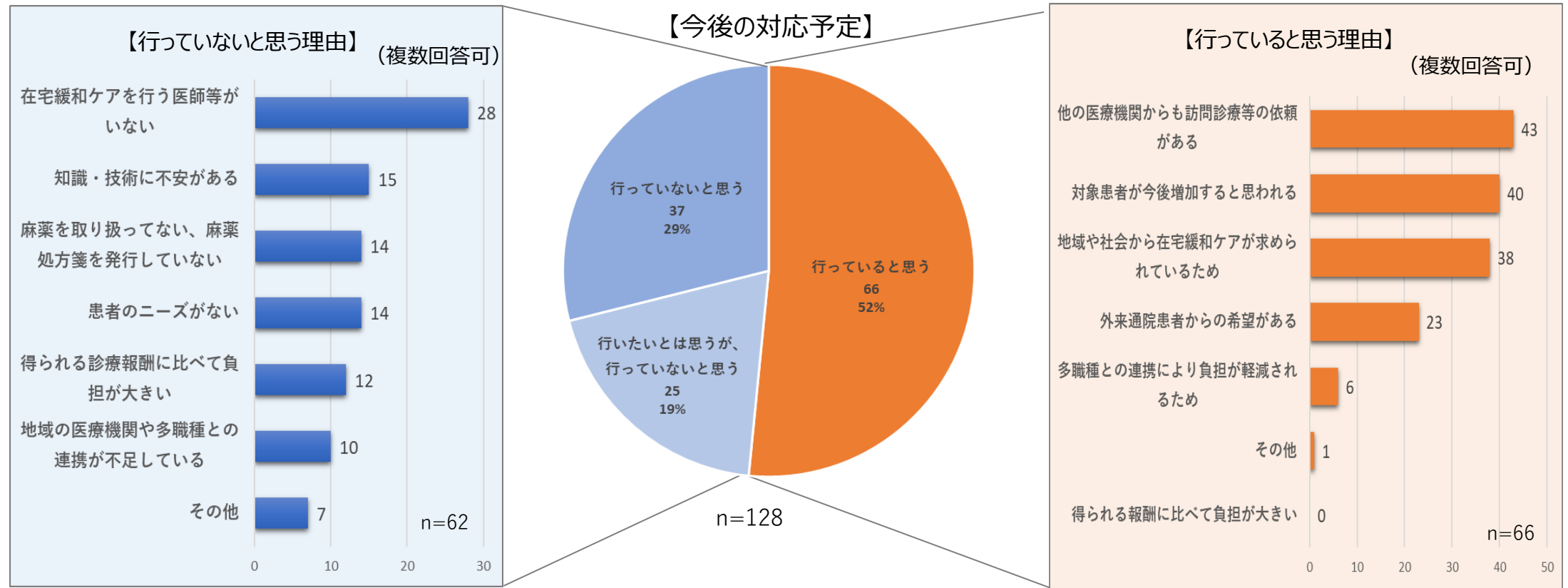


### 【対応している在宅緩和ケアの内容】



## ②在宅緩和ケアの今後の対応予定（診療所）

- 在宅緩和ケアの今後の対応予定をみると「行っていると思う」は52%（38%）、「行いたいとは思うが、行っていないと思う」は19%（20%）、「行っていないと思う」は29%（42%）となっている。
  - 行っていると思う理由をみると、「他の医療機関からも訪問診療等の依頼がある」が最も多い。
  - 行っていないと思う理由をみると、「在宅緩和ケアを行う医師等がない」が最も多い。
- ※（）内は令和元年度調査の結果



### ③緩和ケアに関する知識の充足状況（病院・診療所）

#### 【病院】

※（）内は令和元年度調査の結果

- 緩和ケアに関する知識の充足状況をみると、「充足している」は22%（9%）、「やや充足している」は17%（22%）、「やや不足している」は36%（35%）、「不足している」は25%（34%）となっている。

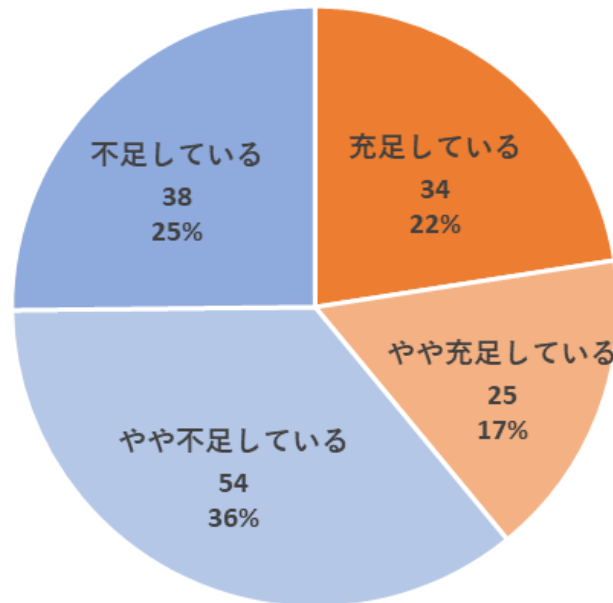
※緩和ケアを実施している病院【63】：充足している・やや充足している 62%

#### 【診療所】

- 緩和ケアに関する知識の充足状況をみると、「充足している」は23%（8%）、「やや充足している」は24%（22%）、「やや不足している」は30%（37%）、「不足している」は23%（33%）となっている。

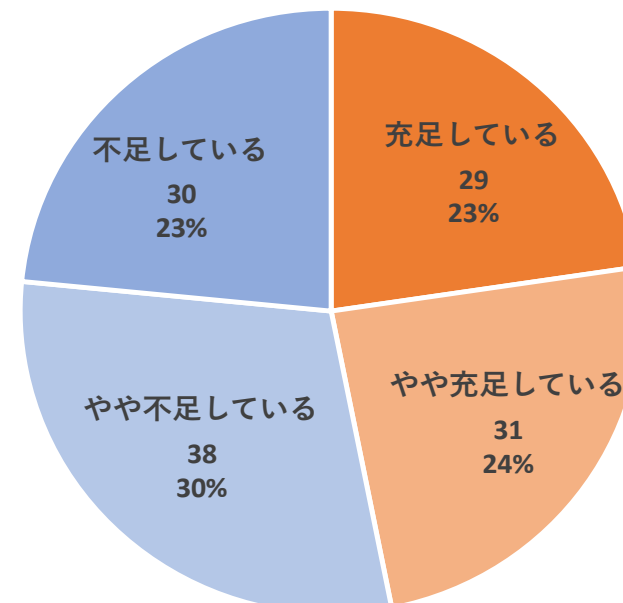
※緩和ケアを実施している診療所【68】：充足している・やや充足している 64%

【病院】



n=151

【診療所】



n=128

### ③緩和ケアに関する知識の充足状況（薬局・訪問看護ステーション）

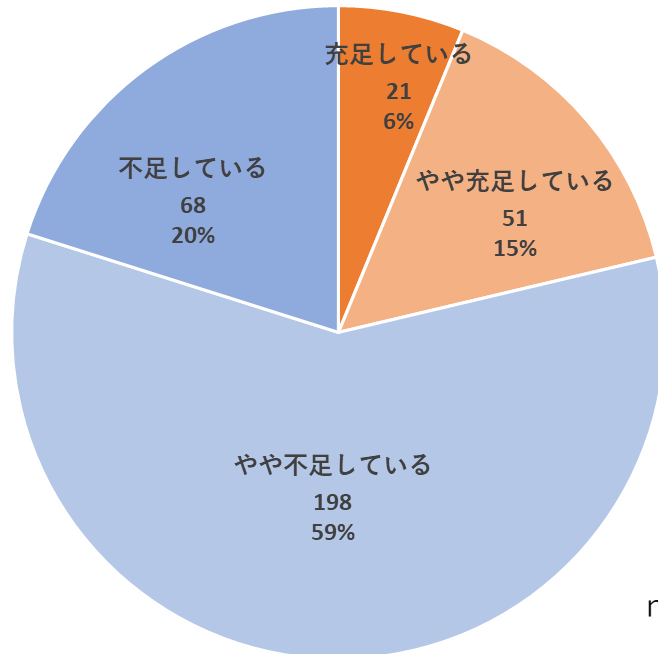
【薬局】 ※（）内は令和元年度調査の結果

- 緩和ケアに関する知識の充足状況をみると、「充足している」は6%（1%）、「やや充足している」は15%（11%）、「やや不足している」は59%（42%）、「不足している」は20%（46%）となっている。

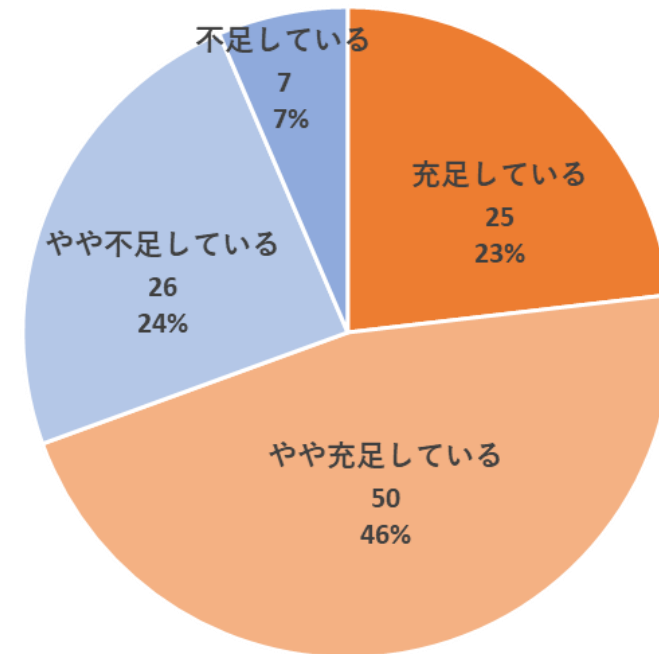
【訪問看護ステーション】

- 緩和ケアに関する知識の充足状況をみると、「充足している」は23%（5%）、「やや充足している」は46%（44%）、「やや不足している」は24%（38%）、「不足している」は7%（13%）となっている。

【薬局】



【訪問看護ステーション】





## ④ PCAポンプの活用・保有状況（病院・診療所）

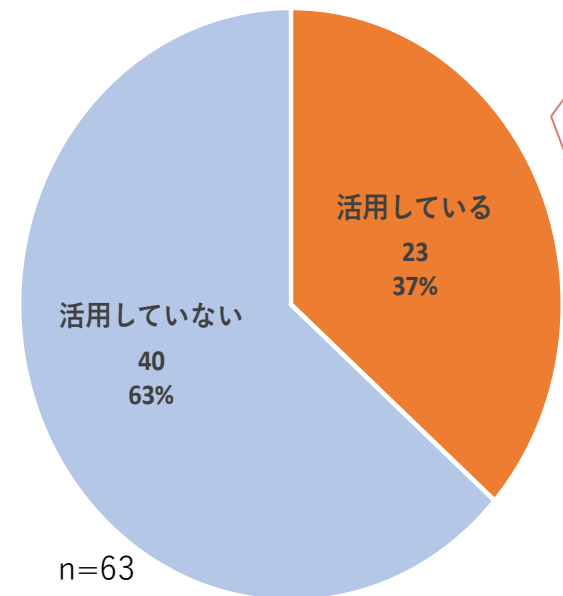
### 【病院】

- PCAポンプの活用状況を見ると、「活用している」が37%、「活用していない」が63%となっている。
- PCAポンプを活用している病院のうち、在宅患者に使用可能なPCAポンプの保有台数を見ると、「0台」が最も多く、次いで「1台」及び「10台以上」となっている。

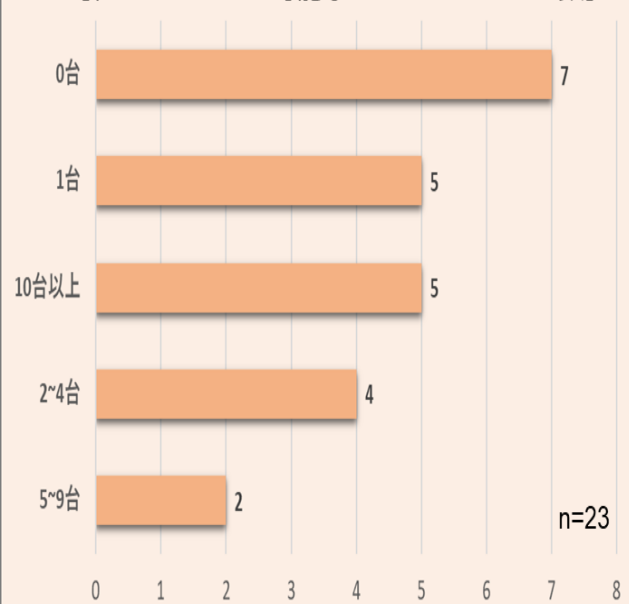
### 【診療所】

- PCAポンプの活用状況を見ると、「活用している」が49%、「活用していない」が51%となっている。
- PCAポンプを活用している診療所のうち、在宅患者に使用可能なPCAポンプの保有台数を見ると、「0台」が最も多く、次いで「1台」となっている。

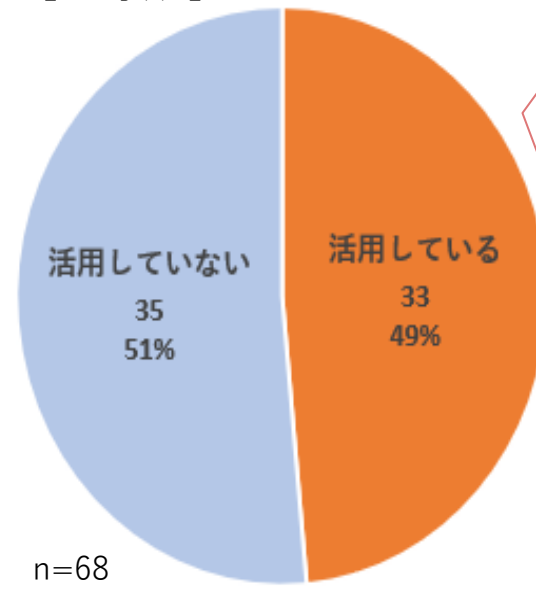
### 【病院】



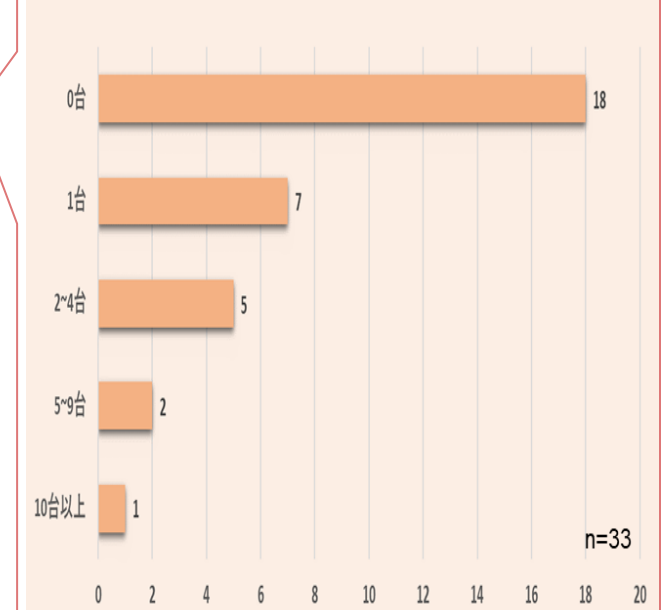
### 【在宅患者に使用可能なPCAポンプの保有台数】



### 【診療所】



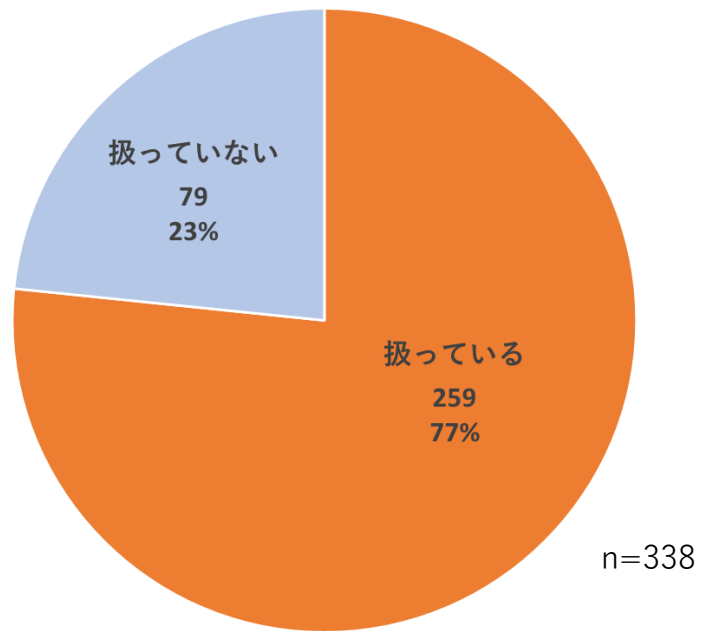
### 【在宅患者に使用可能なPCAポンプの保有台数】



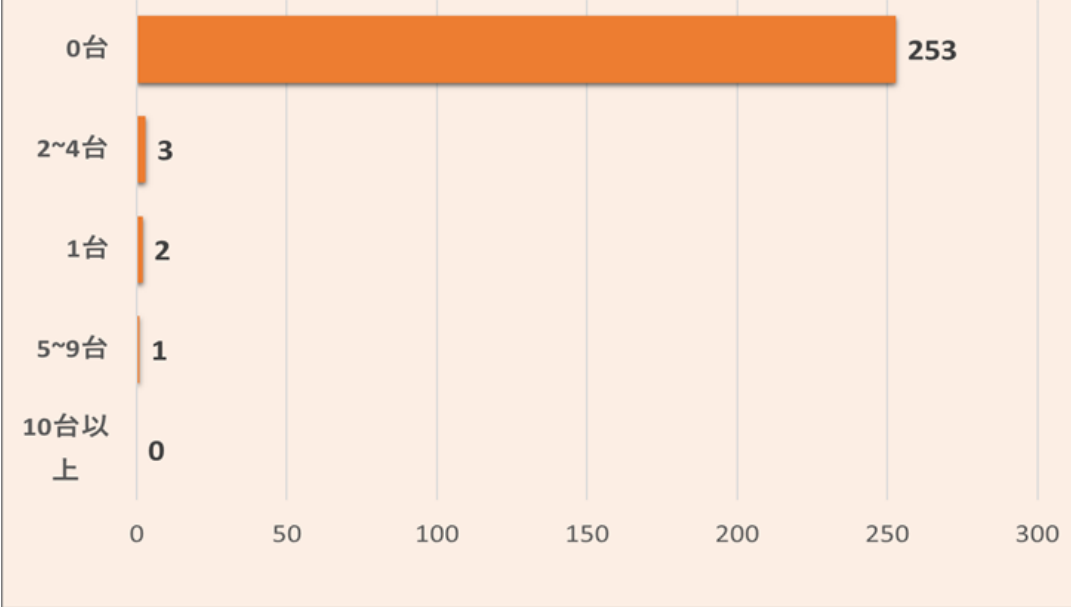
## ④ PCAポンプの保有台数（薬局）

- 医療用麻薬を取り扱っている薬局のうち、在宅患者に使用可能なPCAポンプの保有台数をみると、「0台」が97.7%と最も多く、次いで「2~4台」となっている。

【医療用麻薬の取り扱い状況】



【在宅患者に使用可能なPCAポンプの保有台数】



# 現状及び現在の取組

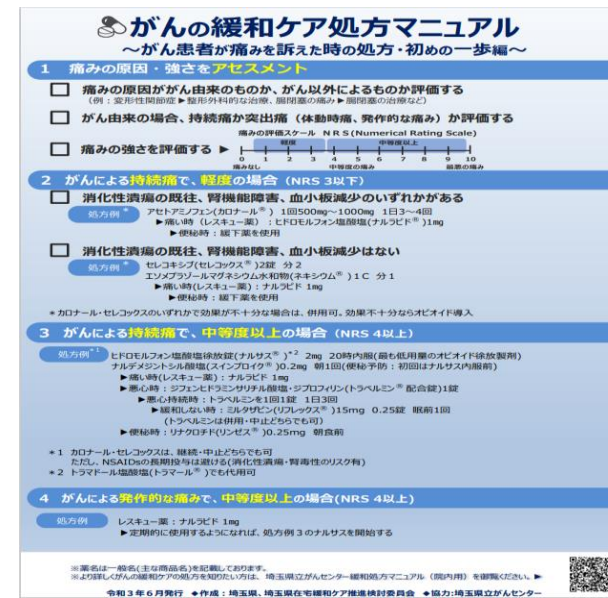
## (1)現状

※ ( ) 内は令和元年度調査の結果

- 実態調査結果によると、緩和ケアの実施状況については、「緩和ケアを実施している」の割合が、病院において約4割（約5割）、診療所において約5割（約4割）となっている。
- また、診療所における在宅緩和ケアの今後の対応予定については、「行っていると思う」の割合が約5割（約4割）となっており、今後行う理由としては、「他の医療機関からも訪問診療等の依頼がある」が最も多い。
- さらに、緩和ケアに関する知識の充足状況については、「充足している」、「やや充足している」の割合が、病院において約4割（約3割）、診療所において約5割（約3割）となっている。

## (2)現在の取組

- 在宅緩和ケア推進検討委員会において、以下の資料等を作成。
  - 何かあったら、まずは「訪問看護ステーション」へ・普及イラスト
  - がんの緩和ケア処方マニュアル ～初めの一步編～、～実践編～
  - 埼玉県版緩和ケアの痛みのアセスメントシート
  - 若手医師世代への在宅医療・在宅緩和ケアにかかわる啓発・理解促進を図る動画
- 郡市医師会が実施する医療従事者等向けの研修会等を支援。



# 御意見をいただきたい論点

## ○ 在宅医療及び在宅緩和ケアの実態に関する実態調査の結果報告について

### 【論点1】

- ・ アンケート調査において、前回の調査結果と比べると、「緩和ケアの実施状況」及び「今後、緩和ケアを実施する予定の医療機関の割合」については、病院において減少し、診療所において増加している。  
今後、更なる「緩和ケアの実施率の向上」に向けて、どのような取組が効果的と考えるか。

### 【論点2】

- ・ アンケート調査において、前回の調査結果と比べると、「緩和ケアの知識の充足状況」は、全ての職種で向上している。  
今後、更なる「緩和ケアの知識充足の向上」に向けて、どのような取組が効果的と考えるか。

### 【論点3】

- ・ PCAポンプの活用状況を見ると、「活用している」が、病院で約4割・診療所で約5割に留まっている。  
今後、更なる「PCAポンプの活用の向上」に向けて、どのような取組が効果的と考えるか。